

## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月7日

上場取引所 大

上場会社名 田中亜鉛鍍金株式会社  
 コード番号 5980 URL <http://z-mekki.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 成和  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役(経理部担当) (氏名) 山村 健一郎  
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月9日 TEL 06-6472-1238  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	4,265	△15.9	58	△60.3	47	△65.5	11	△88.9
22年3月期第3四半期	5,074	△23.8	147	△83.5	137	△84.2	108	△81.3

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第3四半期	1.85	—	—	—
22年3月期第3四半期	16.80	—	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円	銭	
23年3月期第3四半期	9,054	—	4,170	—	46.1	647.25	—	
22年3月期	9,699	—	4,188	—	43.2	649.94	—	

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 4,170百万円 22年3月期 4,188百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
22年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 有

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	5,903	△13.1	136	△32.2	106	△42.2	65	△55.8	10.11	—

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 \_\_\_\_\_）、除外 一社（社名 \_\_\_\_\_）  
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	6,627,360株	22年3月期	6,627,360株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	183,790株	22年3月期	182,792株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	6,443,751株	22年3月期3Q	6,444,568株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(第3四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国経済の回復ペースが緩やかになりつつあることを背景に、第2四半期までの景気回復スピードが鈍り、雇用・所得環境の悪化や設備投資の低迷など、景気は依然として厳しい状況が続いております。当社グループの主要顧客である鉄構・建設業界におきましても、同様に非常に厳しい状況が続いております。

溶融亜鉛めっき業界におきましても、引き続き受注の減少傾向が続いている中、めっき需要の低迷による販売価格の値下げ圧力もある上に、主原料である亜鉛価格は高止まりしております。

このような経済状況のもとで、当社グループは「顧客満足度の向上」を掲げる経営方針に基づき、納期・品質ニーズへの対応などお客様第一の施策、さらには、生産の効率化とコスト削減ならびに適正販売価格の形成に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4億2千5百万円（前年同期比15.9%減）となりました。利益面につきましては、受注量の減少や主原料である亜鉛価格の高止まりにより、営業利益は5千8百万円（前年同期比60.3%減）、経常利益は4千7百万円（前年同期比65.5%減）、四半期純利益は1千1百万円（前年同期比88.9%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 財政状態の分析

当第3四半期連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億4千5百万円減少し90億5千4百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、4億4千7百万円減少し36億9千7百万円でした。これは棚卸資産が評価方法の変更等により2億1千9百万円増加したものの、現金・預金が3億1百万円、受取手形及び売掛金が2億9百万円減少したことによるもので、主に受注の減少によるものであります。固定資産は1億9千7百万円減少し53億5千7百万円となりました。有形固定資産は1億5千5百万円減少し45億8千3百万円に、投資その他の資産が3千9百万円減少し5億6千4百万円になりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ6億2千7百万円減少し48億8千3百万円となりました。これは長期借入金が7億8千5百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1千7百万円減少し41億7千万円となりました。これは評価・換算差額等が1千3百万円減少したことによるものであります。

#### キャッシュフローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3億1百万円減少し5億8千6百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### 「営業活動によるキャッシュ・フロー」

営業活動の結果、増加した資金は4億2千7百万円（前年同四半期は9千6百万円の減少）となりました。これは売上債権の減少が2億9百万円、還付法人税等の受取額が1億6千9百万円あったことによるものであります。

#### 「投資活動によるキャッシュ・フロー」

投資活動の結果、使用した資金は1億4百万円（前年同四半期比76.8%減）となりました。これは有形固定資産の取得が8千6百万円あったことによるものであります。

#### 「財務活動によるキャッシュ・フロー」

財務活動の結果、使用した資金は6億2千4百万円（前年同四半期比10.4%減）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が5億9千3百万円あったことによるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年11月10日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で修正いたしました連結業績予想に変更はございません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### ② 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化が無いと認められる場合においては、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しています。これによる、損益への影響はありません。

(棚卸資産の評価に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成20年9月26日)を適用し、たな卸資産(原材料(亜鉛・亜鉛合金))の評価方法を後入先出法から総平均法に変更しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ155,230千円増加しております。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	586,348	888,310
受取手形及び売掛金	2,008,379	2,217,767
製品	99,838	98,859
原材料及び貯蔵品	790,877	572,113
繰延税金資産	29,322	20,251
未収還付法人税等	—	169,502
その他	190,010	188,494
貸倒引当金	△7,531	△10,546
流動資産合計	3,697,245	4,144,753
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,018,286	4,006,723
減価償却累計額	△2,817,653	△2,745,792
建物及び構築物(純額)	1,200,633	1,260,931
機械装置及び運搬具	3,570,545	3,561,853
減価償却累計額	△3,061,467	△2,938,363
機械装置及び運搬具(純額)	509,077	623,490
土地	2,764,308	2,764,308
リース資産	70,676	48,424
減価償却累計額	△23,059	△14,542
リース資産(純額)	47,617	33,882
建設仮勘定	32,208	26,747
その他	253,011	245,171
減価償却累計額	△223,834	△216,397
その他(純額)	29,176	28,773
有形固定資産合計	4,583,021	4,738,134
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	269,229	257,902
繰延税金資産	3,914	9,192
その他	323,920	366,657
貸倒引当金	△32,866	△29,814
投資その他の資産合計	564,198	603,937
固定資産合計	5,357,141	5,554,862
資産合計	9,054,386	9,699,616

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	494,416	526,816
短期借入金	1,009,203	822,078
リース債務	15,510	10,769
未払費用	55,747	39,813
未払法人税等	37,891	3,259
未払消費税等	24,686	—
賞与引当金	56,566	139,987
設備関係支払手形	8,734	38,647
その他	512,205	453,508
流動負債合計	2,214,961	2,034,880
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	1,646,695	2,431,747
リース債務	34,487	24,928
繰延税金負債	7,221	16,958
再評価に係る繰延税金負債	282,416	282,416
退職給付引当金	422,657	455,489
役員退職慰労引当金	175,113	164,277
その他	231	315
固定負債合計	2,668,820	3,476,132
負債合計	4,883,782	5,511,013
純資産の部		
株主資本		
資本金	770,958	770,958
資本剰余金	736,261	736,261
利益剰余金	2,284,319	2,288,459
自己株式	△37,826	△37,669
株主資本合計	3,753,712	3,758,009
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,487	24,189
土地再評価差額金	406,403	406,403
評価・換算差額等合計	416,891	430,593
純資産合計	4,170,604	4,188,602
負債純資産合計	9,054,386	9,699,616

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	5,074,661	4,265,535
売上原価	4,104,898	3,415,352
売上総利益	969,762	850,183
販売費及び一般管理費	821,901	791,461
営業利益	147,861	58,722
営業外収益		
受取利息	1,392	592
受取配当金	9,140	7,108
保険解約返戻金	23,114	—
受取保険金	—	8,274
その他	9,164	16,377
営業外収益合計	42,813	32,351
営業外費用		
支払利息	50,106	40,053
手形売却損	663	308
その他	2,332	3,300
営業外費用合計	53,102	43,662
経常利益	137,571	47,412
特別利益		
過年度損益修正益	4,565	—
貸倒引当金戻入額	4,887	2,554
賞与引当金戻入額	—	8,153
特別利益合計	9,453	10,707
特別損失		
固定資産除売却損	22,501	5,361
投資有価証券評価損	4,054	—
会員権評価損	—	1,000
特別損失合計	26,555	6,361
税金等調整前四半期純利益	120,469	51,757
法人税、住民税及び事業税	8,784	43,928
法人税等調整額	3,445	△4,142
法人税等合計	12,229	39,786
少数株主損益調整前四半期純利益	—	11,971
四半期純利益	108,240	11,971



(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	1,786,249	1,579,892
売上原価	1,405,540	1,243,743
売上総利益	380,708	336,148
販売費及び一般管理費	282,634	270,518
営業利益	98,074	65,630
営業外収益		
受取利息	369	300
受取配当金	1,123	1,563
受取保険金	2,492	6,580
その他	1,987	4,304
営業外収益合計	5,972	12,749
営業外費用		
支払利息	15,561	12,481
手形売却損	260	80
その他	1,717	639
営業外費用合計	17,538	13,201
経常利益	86,508	65,178
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,075	△905
特別利益合計	1,075	△905
特別損失		
固定資産除売却損	2,565	2,900
投資有価証券評価損	4,054	—
会員権評価損	—	150
特別損失合計	6,619	3,050
税金等調整前四半期純利益	80,964	61,222
法人税、住民税及び事業税	2,690	12,321
法人税等調整額	11,184	△1,206
法人税等合計	13,875	11,114
少数株主損益調整前四半期純利益	—	50,107
四半期純利益	67,089	50,107

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	120,469	51,757
減価償却費	308,338	254,494
賞与引当金の増減額(△は減少)	△55,614	△83,421
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,000	36
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,569	△32,832
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△122,270	10,835
受取利息及び受取配当金	△10,533	△7,700
保険戻戻金	△23,114	—
支払利息	50,106	40,053
投資有価証券評価損益(△は益)	4,054	—
固定資産除売却損益(△は益)	22,501	5,361
会員権評価損	—	1,000
売上債権の増減額(△は増加)	256,299	209,388
たな卸資産の増減額(△は増加)	57,915	△219,742
仕入債務の増減額(△は減少)	△151,100	△32,400
未払消費税等の増減額(△は減少)	△41,086	24,686
前受金の増減額(△は減少)	△181,472	△196
その他の流動資産の増減額(△は増加)	—	19,858
その他の流動負債の増減額(△は減少)	—	60,010
その他	△17,759	△1,225
小計	210,163	299,964
利息及び配当金の受取額	10,617	7,783
利息の支払額	△48,462	△38,909
法人税等の支払額	△269,187	△10,777
法人税等の還付額	—	169,502
営業活動によるキャッシュ・フロー	△96,869	427,565
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△10,000	—
有形固定資産の取得による支出	△449,114	△86,380
有形固定資産の除却による支出	△8,635	△1,172
無形固定資産の取得による支出	△3,926	△5,756
投資有価証券の取得による支出	△152,148	△1,415
投資有価証券の償還による収入	100,000	—
保険積立金の解約による収入	105,571	—
その他	△31,910	△9,868
投資活動によるキャッシュ・フロー	△450,163	△104,593

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△34,500	△4,500
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△706,567	△593,427
自己株式の取得による支出	—	△156
リース債務の返済による支出	△8,284	△10,889
配当金の支払額	△47,983	△15,960
財務活動によるキャッシュ・フロー	△697,334	△624,933
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,244,367	△301,962
現金及び現金同等物の期首残高	1,824,902	888,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	580,534	586,348

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）

当社連結グループは、専ら溶融亜鉛めっき加工及びこれに付帯する事業を営んでいますので、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

当社連結グループは、専ら溶融亜鉛めっき加工及びこれに付帯する事業を営んでいますので、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

## 〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

## 〔海外売上高〕

前第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）

	中国	計
I 海外売上高（千円）	198	198
II 連結売上高（千円）	1,786,249	1,786,249
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	0.0	0.0

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	中国	計
I 海外売上高（千円）	302,698	302,698
II 連結売上高（千円）	5,074,661	5,074,661
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	6.0	6.0

## 〔セグメント情報〕

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、専ら溶融亜鉛めっき加工及びこれに付帯する事業をおこなっており、関西圏では当社が、首都圏では横浜ガルバー(株)が、東北圏では秋田ガルバー(株)が、それぞれ連携しながら、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「関西圏」、「首都圏」、「東北圏」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報  
当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	関西圏	首都圏	東北圏			
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,467,156	1,559,526	238,853	4,265,535	—	4,265,535
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	38,262	21,946	19,944	80,153	△80,153	—
計	2,505,419	1,581,472	258,797	4,345,689	△80,153	4,265,535
セグメント利益又は損失 (△)	△23,175	66,150	12,262	55,238	3,484	58,722

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 当第3四半期連結会計期間（自平成22年10月1日 至平成22年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	関西圏	首都圏	東北圏			
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	942,269	559,435	78,187	1,579,892	—	1,579,892
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,765	4,176	11,371	30,313	△30,313	—
計	957,034	563,612	89,558	1,610,206	△30,313	1,579,892
セグメント利益又は損失 (△)	33,128	28,046	3,332	64,507	1,122	65,630

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。